

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	原田学園 ことばの支援センターこまつばら（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R8 年 1 月 22 日		～ R8 年 2 月 13 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7 年 12 月 12 日		～ R7 年 12 月 26 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	R8 年 1 月 20 日		～ R8 年 2 月 13 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 12 月 22 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設・保護者との信頼関係を基盤とした丁寧な対話と情報共有体制が確立されている点が強みである。		対話内容の記録・共有方法をより体系化し、次回支援や計画見直しに確実に反映させる仕組みを強化する。 連携内容を可視化し、チーム全体で共有する体制をさらに整備する。
2	アセスメントに基づいた計画作成と、計画に沿った継続的な支援実施体制を整えている。	フォーマル・インフォーマル双方のアセスメントを活用し、子どもの実態把握を丁寧に行っている。 支援前後の打合せを徹底し、役割分担や振り返りを共有している。 訪問先の理念や教育方針を尊重しながら支援内容を調整している。	計画作成段階での訪問先との事前協議をより充実させる。 PDCAサイクルの振り返りを数値・記録ベースで整理し、改善点をより具体化する。
3	専門性向上への継続的な取組と、関係機関との連携姿勢を整えている。	法人内外の研修に参加し、専門的知識・技術の向上を図っている。 可能な限り関係機関会議へ参加し、支援の一貫性を意識している。 評価結果を共有し、業務改善につなげる機会を設けている。	研修内容の事業所内フィードバック体制を強化する。 地域協議会等への参加体制を整え、地域連携をより安定的なものとする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	PDCAサイクルへの全職員の主体的参画が十分とは言えない点。	振り返りが形式的になりやすい場面がある。 目標設定や改善点の共有方法が統一されておらず、改善内容が個人レベルで留まることがある。	振り返りのフォーマットを整備し、改善内容を明確化する。 定期的なミーティングで具体的改善策を確認し、実行状況を共有する。
2	保護者同士の交流機会の体系的整備が十分ではない点。	父母の会等の正式な場は設置していない。 交流機会が集団療育に限定されている。	事業特性を踏まえながら、小規模な情報交換の場やオンライン共有等の可能性を検討する。 保護者ニーズの把握を行い、必要に応じた交流支援を検討する。
3	地域協議会等への参加が安定的とは言えない点。	業務との兼ね合いにより参加が限定的になることがある。 情報共有など、間接的な参加に留まることが多い。	参加体制を事業所として位置付け、担当を明確にする。 参加後の報告共有を仕組み化し、組織全体で地域情報を活用する。